

## 答申案の骨子(構成案・取りまとめのイメージ)

### ◎ 答申の構成案

- 1 検討の経過 (これまでの答申・試行と、それらを踏まえた議長諮問の経過)
- 2 作業部会の調査研究・評価 (ICT研修会、委員会試行の検証、先進議会調査等)
- 3 **作業部会としての提言**  
(これまでの調査研究の結果をどのように評価し、府議会としては、どのような方向性で、ICT化・ペーパーレス化を進めるのがよいかを提言)

**【論点】作業部会として、どのような方向性で提言を取りまとめるのか。**

### ◎ 取りまとめの方向性(部会長案) ※詳細は【資料3参照】

- 府議会としても、ペーパーレス会議システムを導入することを基本的方向性とし、次年度から具体的な検討に着手できるような内容で、答申案に記載する提言を取りまとめてはどうか。
- 答申案には、単に、「実施に向けた具体的検討項目」のみを記載するのではなく、慎重意見も勘案し、「メリット(効果等)」のほか、「デメリット(課題等)」も明らかにし、さらに、費用対効果等の「検討の視点」も記載
- 目安としての導入スケジュールの指針案を示すとともに、次年度の実施体制(作業部会等)・試行実施案(議長諮問事項)も盛り込む。

### ◎ 提言の骨子(イメージ) ※詳細は【資料3参照】

#### 1. 府議会のICT化(ペーパーレス化等)にかかる基本的な方向性

- 上記の方向性による提言まとめ

#### 2. 具体的提言

##### A. メリット(効果等)

- 調査研究で明らかとなったICTのメリットを記載

##### B. デメリット(課題等)

- 操作に習熟しない議員のペーパーレス審議への不安の解消ができなければ、審議の充実等に反するなど、デメリットについても整理・記載

##### C. 検討の視点

- 「費用対効果」等も含めて、検討の視点(スタンス)を整理・記載
- 聴覚バリアフリー(e-ミミ)についても、「開かれた府議会」という視点から、ここで整理

##### D. 次年度からの具体的検討項目(裏面参照)

- 調査研究の成果として、次年度に具体的な整理・検討が必要な項目(ただし、執行部のICT調査を踏まえた項目は、未反映)を明確化しておくことで、次年度の検討を、スムーズかつ確実に進める。

#### 3. 導入スケジュール※と実施体制・試行実施案 ※スケジュールは【資料3参照】

- 作業部会を「調査研究型」から「実施案検討型」に移行
- 常任委員会でのペーパーレス会議の試行の実施(9定又は12定)を提言

○「次年度からの具体的検討項目案」のイメージ（答申案には、より詳細な内容を記載）

① ICT環境の整備

- ・ 情報端末機器  
機器・仕様の選定、調達方法、管理方法 ほか
- ・ インターネット接続環境  
議会棟のネットワーク環境(5G)、議会LANの要否 ほか
- ・ ペーパーレス会議システム  
システム・仕様の選定、調達方法 ほか
- ・ その他  
本会議等の字幕情報表示との連携 ほか

② 運用面の整備

- ・ 執行部との連携等  
対象文書、PDFファイル等の仕様、会議録の作成のあり方 ほか
- ・ ペーパーレス会議の運営方法
- ・ 障害時等の対応  
本会議の運営、委員会の運営、その他の会議の運営、  
議会例規・申し合わせ ほか
- ・ 各議員へのサポート体制  
研修、相談体制 ほか

③ セキュリティ対策

- ・ システム上の対応
- ・ 運用上の対応
- ・ 目的外使用の防止策 ほか